

次なるステップへと前進させる礎づくり



西尾市長
神原康正

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平成26年の年頭にあたり、謹んで新

年のごあいさつを申し上げます。

昨年は本市が市制を施行して60周年を迎えた記念すべき年であり、新市になって初めて策定した総合計画がスタートした年でもありました。

その節目の年に、一年間を通じて市民の皆さまとともに多種多様な記念事業を催し、祝い合うことができたことを本当にうれしく思っております。

その中で防災、福祉、観光、産業、歴史文化、スポーツなど、あらゆる分野で民と官の協働による事業展開を推

し進めることができました。

改めて本市の素晴らしい魅力、先人が培ってきたかけがえのない地域資源さらには市民の皆さまのマンパワーを感じる事ができた、実り多い一年でありました。

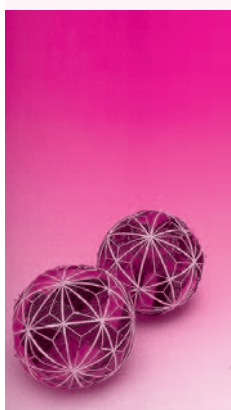
新年を迎え、間もなく新市が発足して3年が経過いたします。還暦を迎えた本市の次なるステップとして、新市の礎づくりを本格的かつ具体的に前進させることが何よりも大切であると強く感じております。

私は、先人から引き継いだふるさとの可能性を引き出しながら「合併して良かった」と言っていただけのような夢と希望のあるまちづくりを強く推し進めてまいります。市民の皆さまにはこれから先も「オール西尾」の精神で市政運営をサポートしていただきますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとつて心身ともに健やかな輝かしい年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



2014年●新年のごあいさつ 明けまして おめでとうございます



開かれた議会を目指して



西尾市議会議長
小林敏秋

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は市

議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、日本経済は金融緩和や経済対策などの政策効果で底堅く推移し、デフレ脱却に近づきつつあるとの見方が相次ぎました。企業経営に明るさが増している一方、消費増税に向け、賃上げや個人消費の動向が今後の焦点との指摘も多く聞かれました。

本市では依然厳しい財政状況の中、少子高齢化への対応、地域公共交通の方向性、環境問題への対応、地域医療

の再生、公共施設再配置の在り方など、克服すべき多くの課題を抱えております。とりわけ、東日本大震災や一昨年の集中豪雨による浸水被害が残した教訓を生かした、防災・減災対策事業の実施が急務となっております。こうした状況の中、本年も引き続き第7次西尾市総合計画による「融和」のまちづくりを進めていかなければなりません。

本市議会におきましては、昨年度から議会改革検討委員会を設置し、開かれた議会、透明性のある議会を目指して議会改革に取り組んでいるところで

ございます。市民の皆さまの信頼と負託に応えるためには、さらに議会力を高め、議会運営の活性化と議会活動の透明性を向上させることが必要不可欠であると考えております。市民の皆さま誰もが心豊かに暮らせるまちづくりを推進するため、一層職務にまい進する所存でございます。昨年にも増してご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。